



タウンミーティングを開催しました！

全6地区のコミュニティセンターにて、
策定中の第6次総合計画のご紹介や東浦町の現況についてご説明致しました！

～開催の様子～

タウンミーティングにも女性の参加を促す工夫をしたほうがいいのでは？



7/21(土) 緒川地区

人口減少・高齢化で東浦はどうなるのかデータをしっかり分析してほしい！



7/21(土) 緒川新田地区

自分事としてのまちづくりのやり方が分からない住民にきっかけほしい！



7/22(日) 生路地区



7/22(日) 石浜地区

グローバル社会に対応できる特性を活かした取組が必要では！



7/29(日) 藤江地区

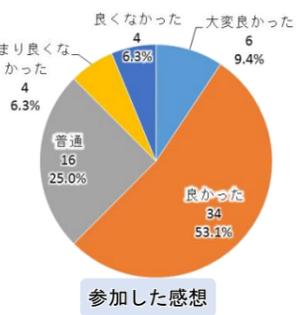
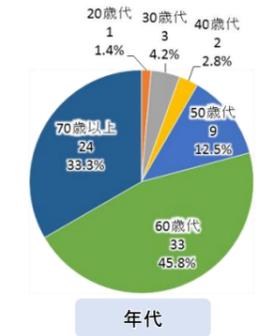
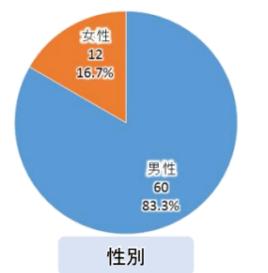
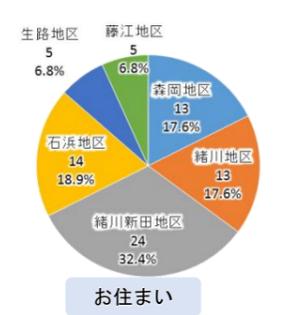
地域の活動に参加しやすくなるような仕組みづくりを町に支援してほしい！



7/29(日) 森岡地区

地域の一部の人への負担ではなく住民全員が協力できるようになるといい！

～参加者アンケートより～



～ 石浜地区 ～



【開催概要】日時：7月22日(日) 13:30～15:00 場所：石浜コミュニティセンター 参加者数：20名

意見等の概要	回答
基本構想について 「人口減少社会・少子高齢化社会」と「住民がいきいきと暮らせる社会」の整合性を考える必要がある。後期高齢者でも元気な人もおり、そうした人が活躍できる場を積極的に増やす取組が必要ではないか。社会の中で子どもが学べるような取組や、東浦町の特性として外国人の居住が多いが、グローバル社会では活発に人が移動する。特性を生かした取組はないのか。 第6次総合計画の人口問題研究所の数値では、生産年齢人口の激減が問題である。前倒して計画を作る理由は人口減少とのことだが、年齢構成では生産年齢人口が激減しており、財源確保が問題になる。また、計画を前倒しているが、財源確保への対策が分からない。第6次総合計画で20年の計画を作ることにする理由を明らかにしないとけない。税収の減少と歳出の増大が問題となる。 第6次総合計画の人口の基準値を確認したい。第5次総合計画の見込みが実際より大きかった原因は何かを把握しないと、20年後に同じ違いが出てくるので、数値的にとらえて取り組んで欲しい。 第5次総合計画の人口推計と実態に誤差があったところの原因について、推計は人口問題研究所が出している数値なので検証できないのではないかと。	例えばこんな取組はどうかというようなアイデアがあれば伺いたい。 第5次総合計画では人口増加を見込んでいたが、平成27年国勢調査で人口が減少した。人口増加傾向を見込んでいた施策は人口減少していく中では合わないため第6次総合計画に向けて見直しをしている。第6次総合計画では45,000人を推定している中で、土地利用についても併せて考えていくものとしている。人口が少なくなる中で持続可能なまちを作っていくことが大切で、企業誘致、雇用の創出、住宅の需要も考えていきたい。数値は確認しながら進めていきたい。
基本計画について ○主要施策に多文化共生や外国人対策が分かるものを入れて欲しい。 ○情報発信が大事である。二世帯、三世帯の世帯では高齢世帯が参加しても次の世帯が参加していない。コミュニティに気兼ねなく参加できるようにして欲しい。ラインやフェイスブックなどの活用も検討するなど、参加する人が固定化しないように、施策として文面にしたい。 東浦町には海外留学や海外の大学に進学した人たちも多くおり、英語教室や英語で紙芝居をやりたいという相談もあるが、地元の人たちは離れていく傾向がみられ、スキルを持っていても活動しようとするのが阻害されてしまう。こうした人材を大事にしたいので、上手く支援をして欲しい。	情報伝達について、広報が配布されていなかったところが配布されるようになるなどコミュニティの力で少しずつ解決されているのを感じている。 巻き込まれるという感覚があるのは、負担が大きくなることを嫌っているのか、ほかに原因があるのか探っていくかなければならない。一緒に知恵を出してやっていきたい。
その他 石浜のコミュニティまつりでブラジル人の人がブースを出したことがある。翌年ブースを開けたが、誰も来なかった。外国人はいついなくなるかわからない面がある。外国人の意見を聞いて施策を考えるとよい。 今までの石浜西の地区に対してマイナスの見方をしている人が多かったのではないかと。むしろチャンスとして行政が取り組んでくれればよくなると思う。魅力の原石を磨く努力をして欲しい。東浦中学校との意見交換会やプラスバンドにも外国人の生徒が多かった。東浦町全体に広げるような努力をして欲しい。	外国人の方が日々生活するうえでどう感じているかを知る必要はある。外国人は仕事に影響されて住む場所が変わることに考慮する必要がある。 ○地区実態点検で県営住宅の道路について話が出たが、今までは日本人でしか話をしていなかった。取組を考えていく必要がある。 ○これから外国の方が増えていくことは予想される。日本にいても自分の文化や言葉に誇りが持てる、お互いを認め合える場を作っていくかなければいけないと思う。ブラジルの武術(カポエイラ)を学ぶ場を設けたり、ブラジルの焼肉料理(シュラスコ)行ったりするなど、お互いの理解が深まる場づくりに取り組んでいかなければいけないと思う。 ○外国人との共生に関する取組については、基本計画で示している。基本構想の下で基本計画で、5つの施策の具体的な取組として学校教育や生涯学習など部門別計画を記載している。
行政は住民サービスだという観点で行政を進めて欲しい。住民の感覚とずれているのではないかと。	人と人とのつながりを重視して基本構想を作っている。
石浜地区には学区が二つあるが、伝達事項が複雑。地区に住んでいる人にはわかりにくい。線引きが分からない。方針を示して欲しい。コミュニティ活動も石浜地区は全て一緒になってやっている。新しいやり方が求められている。住民が考えてやって欲しいというが、勉強する場を設けてくれているので参加する必要があると思うが、出てくる人が固定化されている。	タウンミーティングでは東浦町全体の目指す姿を説明しているが、地区による問題は記載していない。そうしたことについてもこうした場で意見を頂きたい。
人口減少を緩やかにする取組として効率的な行政を挙げている中で、番号制度などが、国レベルでも行われているが将来にわたって本当に有効な制度として使えるのか疑問である。将来的には、できる人ができることをやる社会になっていくのではないかと。こうした将来に対応して、議員はより良い条例を作ったりするのが仕事であるが、自分の仕事を理解していないように感じる。	皆さんは、地域でそれぞれ活躍されている中で、ちょっとしたことでもやってもらえると良いと思っていることがあれば聞かせて欲しい。
石浜地区は他地区と比べて人口の割合が多い。町としては石浜地区をどのように考えているか。石浜地区を分離していくとすると、組織的に複雑になる。	歴代の区長からも大きいという話は聞いている。石浜コミュニティとして、どのような分け方をしたら良いかという提案があれば頂きたい。なお、中央地区は区画整理でまちづくりをした場所であり分離は難しいと思っている。
総合計画のタウンミーティングではなく地区の要望になっているのでは、地区ごとに行う意味を明確にして焦点を絞って欲しい。	総合計画の現状を説明するつもりでやっているが、各地区の問題が総合計画に反映されているかについてはこの場で考えたい。